

HURXLEY

証券コード 7561 東証第一部



2021年3月期
決算説明会資料

株式会社ハークスレイ



新中期経営計画「Resilient2021」概要	P3
2021年3月期 決算概要	P8
2022年3月期 業績予想について	P25
株主還元について	P30
APPENDIX: SDGs CSRへの取組み	P32

新中期経営計画 「Resilient2021」概要

(22/3期~24/3期)

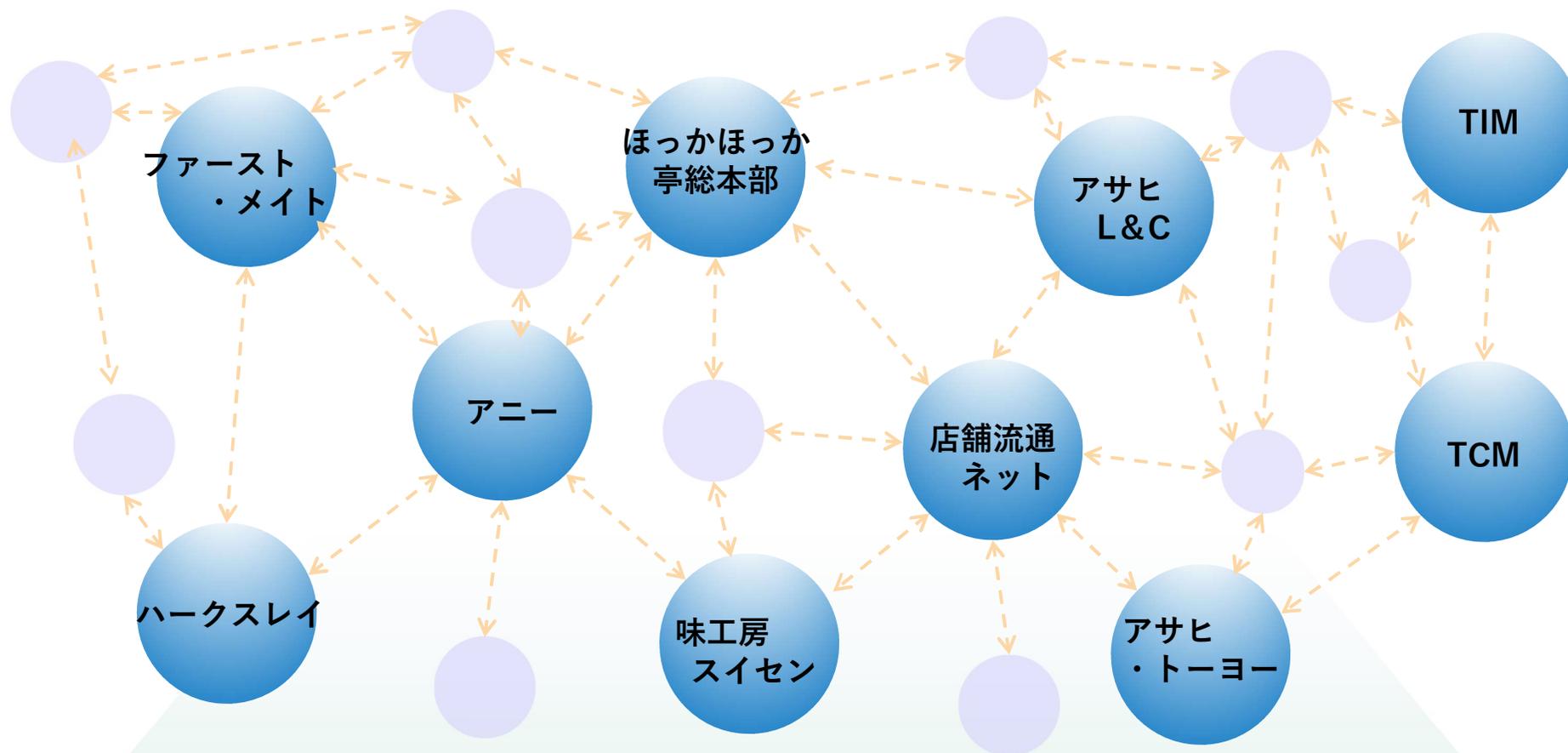


中期計画 VISION 「自己変革型企业群」

不透明さを増す未来において新しい価値創造を続けていくために、
ハークスレイグループは環境適応能力と成長性を兼ね備えた
事業連合体「自己変革型企业群」を目指します



グループ戦略 グループイメージ



フラットで お互いに刺激・影響を与え 共に支えあう関係

VISION 「自己変革型企业群」

1

既存事業の利益率向上

2

成長事業に経営資源を積極投下

3

グループインと事業間連携による新規事業創出

4

グループ拡大を支える人材育成と組織確立

2021/3期
実績

新中期計画
Resilient2021施行

新中期計画後
2024/3期

(単位：百万円)

売上高	35,126	× 145.6%	51,149
営業利益	400	+ 2,068	2,468
営業利益率	1.1%	+ 3.7%	4.8%
当期純利益	70	+ 1,977	2,047
ROA	0.2%	+ 3.8%	4.0%
ROE	0.3%	+ 7.9%	8.3%
D/Eレシオ	19.5%	+ 13.9%	33.4%

2021年3月期 決算概要

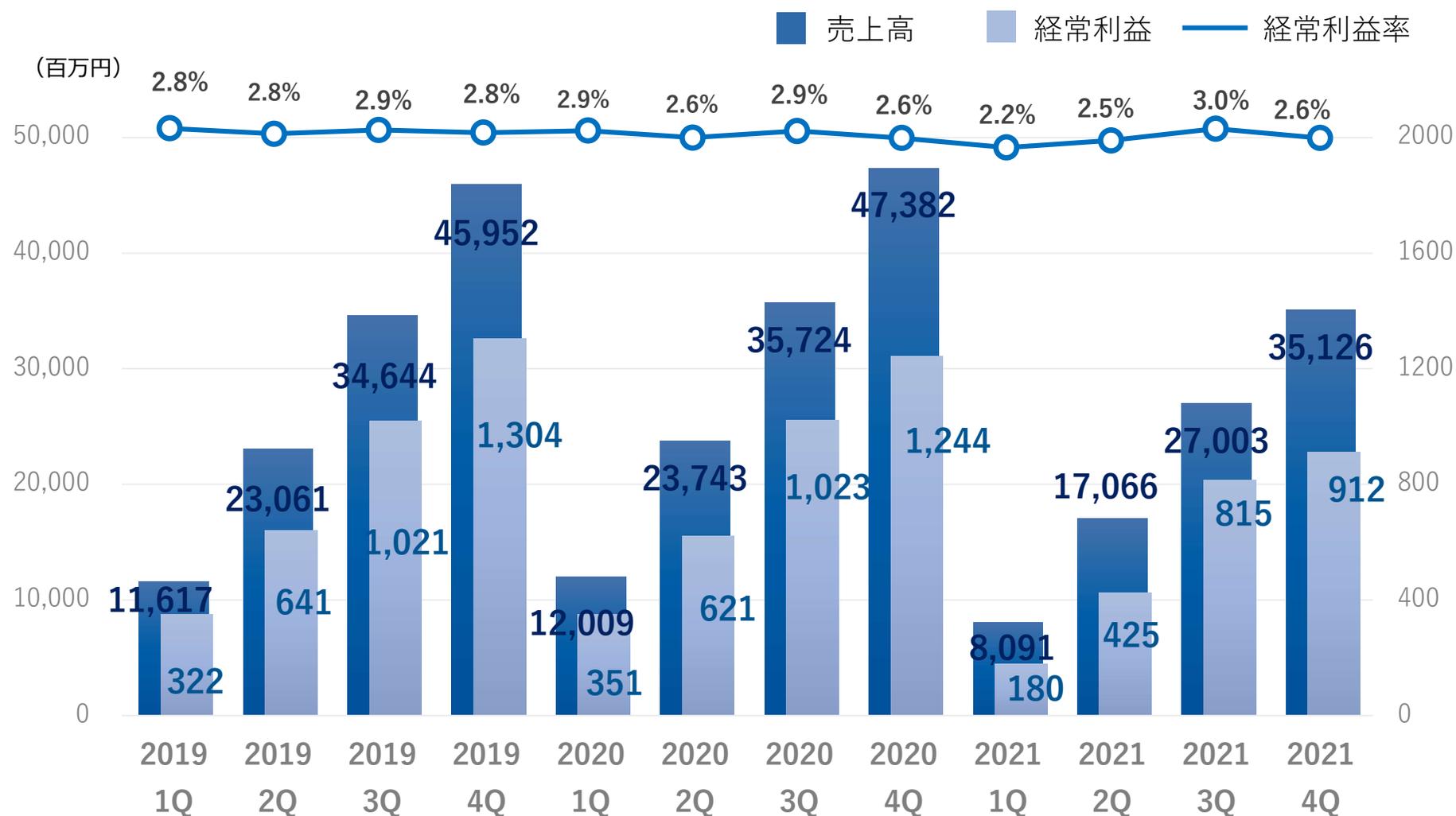


コロナ禍において、成長投資を続投しながら ポートフォリオ経営の最適化を図り黒字で着地

- 新型コロナ感染症拡大が売上高に影響するものの、迅速なコストコントロールで黒字を維持
- 当期純利益については、フレッシュベーカーリー関連事業の売却損、新型コロナウイルスの影響による収益低下で繰延税金資産の取崩しを行ったこと及び一部固定資産の減損が影響

(単位：百万円)	2020/3期		2021/3期		前期比	当初計画
	金額	売上比率	金額	売上比率	増減率	
売上高	47,382	—	35,126	—	74.1%	41,000
売上原価	36,701	77.5%	25,395	72.3%	69.2%	
売上総利益	10,680	22.5%	9,730	27.7%	91.1%	
販管費	9,735	20.5%	9,330	26.6%	95.8%	
営業利益	944	2.0%	400	1.1%	42.3%	730
経常利益	1,244	2.6%	912	2.6%	73.3%	1,230
税金等調整前 当期純利益	1,738	3.7%	634	1.8%	36.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	2.7%	70	0.2%	5.6%	740

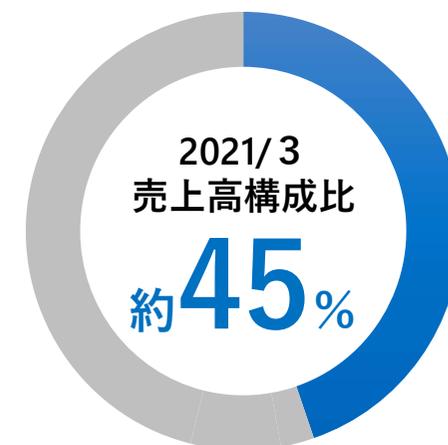
新型コロナの影響は第1Qが業績ボトム 経常利益率は2Q以降コロナ前とほぼ同等で推移



営業自粛要請の影響を受けるが、速やかな空室抑制で事業の安定化を図り、
利益率は向上。 店舗管理事業においては収益機会を増やすことに注力

(単位:百万円)

		2020/3期	2021/3期	
		金額	金額	前期比
売上高	店舗委託	25,168	14,982	59.5%
	店舗管理	795	728	91.5%
セグメント利益 (利益率)	店舗委託	862 (3.4%)	735 (4.9%)	85.3%
	店舗管理	369 (46.4%)	218 (29.9%)	59.0%



■ 店舗委託事業

- 委託店舗オーナー及びビルオーナーとの連携を緊密にして空室の抑制に努めるとともに、低採算店舗の選別による物件稼働率の向上に注力
- 迅速なコストコントロールで、新型コロナウイルスの影響を最小限に留める
- 積極的に新規出店・優良物件の仕入れを実行

■ 店舗管理事業

- 複数の商業ビルの購入、及びTRUNKシリーズビルの竣工を行い、成長戦略の一つである不動産ファンドサービスを展開

コロナ禍で優良店舗が開店

開店日	地域	店名
6月1日	神奈川県	肉道楽
6月1日	愛知県	磯丸水産 金山店
6月13日	東京都	TRPGカフェモノドラコ
6月13日	大阪府	焼肉ガッツ
6月20日	東京都	ニクアザブ二子玉川
6月24日	東京都	emo cafe
7月16日	神奈川県	串かつ でんがな 横浜南幸店
7月22日	愛知県	KollaBo名古屋駅前店
7月29日	東京都	ワインバル Shu-Boo
8月7日	東京都	ラーメン リンダ軒
8月7日	東京都	から揚げの天才 下高井戸店
8月17日	神奈川県	京都ラーメン森井 向ヶ丘遊園店
8月28日	東京都	saica TOKYO
9月1日	東京都	アクアリウムダイニングJeMare
9月10日	大阪府	横浜家系ラーメン光来家 天満店
9月17日	愛知県	焼肉 牛政ゆたか
9月26日	千葉県	らぁ麺 凱哉
10月2日	東京都	わさ
10月7日	東京都	KAPI TAPI 道玄坂店
10月8日	東京都	やきとん 多吉 巣鴨店
10月13日	東京都	大衆イタリアンかね子 秋葉原店
10月14日	東京都	油そば 春日亭 中野店
10月21日	東京都	京都ラーメン 森井 明大前店

開店日	地域	店名
10月25日	東京都	牛たん平司 三軒茶屋店
10月26日	東京都	博多やさい巻き串屋 ねじけもん 恵比寿別邸
11月6日	東京都	焼肉つなぐ
11月12日	神奈川県	黒毛和牛 焼肉食べ放題 和牛LAB 横浜店
11月12日	兵庫県	兵庫 縁乃助商店
11月19日	東京都	焼き鳥 神保町 とり瑛
11月22日	東京都	メアリーキッチン 高円寺
11月25日	東京都	居酒屋 秀ちゃん
11月26日	東京都	こってりラーメン せきやけ 水道橋店
11月27日	北海道	まさや 北海道麻生店
12月7日	東京都	Thai & Indian Bar SIMRAN
12月11日	大阪府	美容室 KAYLEE
12月14日	東京都	マシヨマシヨ & マシヨチキン
12月14日	東京都	BUBBLE EBISU 五差路店
12月15日	東京都	餃子酒場 目黒店
12月15日	東京都	ほていちゃん 巣鴨店
12月22日	東京都	0秒レモンサワー仙台ホルモン焼肉酒場 ときわ亭東高円寺店
12月28日	東京都	ZINO 東通り
1月4日	埼玉県	とらすと整体院 大宮東口店
1月18日	東京都	台湾小館
2月1日	東京都	COPAIN 中野店
2月23日	東京都	ホルモン焼き 焼肉 好子ちゃん
2月28日	東京都	Cloe 新宿
3月3日	東京都	新宿屋 新宿西口店

駅近・高付加価値で競争力のある店舗ビル4物件、開発用地1物件取得

新規取得 **所有ビル**

TRUNK福島
(大阪市福島区)

駅近 駐車場

4つ目のTRUNK竣工

梅田に隣接し駅近で国道2号に面した地上3階建て店舗ビル



新規取得 **所有ビル**

山ニビル
(埼玉県川越市)

駅近

都心への通勤にも便利なベッドタウン川越の、駅近・商店街に面した好立地。地上4階建て(地下1階)の店舗ビル



新規取得 **所有ビル**

ROCOビル
(東京都立川市)

駅近

オフィス街に面した駅近にあり、歓楽街の入口、商業施設の入口にも面している好立地の商業ビル



新規取得 **所有ビル**

明大前ビル
(東京都世田谷区)

駅近

都心にダイレクトアクセスできる利便性の高い明大前、駅から徒歩1分の好立地に面する商業ビル



新規取得 **開発用地**

東京都港区麻布十番2丁目3-2

駅近

地下鉄2線利用可能な麻布十番駅より徒歩2分

- 所有ビル** ①Box'R新橋ビル (東京都港区) ②TRUNK刈谷ビル (愛知県刈谷市) ③鶴屋町ルポビル (神奈川県横浜市)
- ④小川町3丁目ビル(東京都千代田区) ⑤所沢MKビル (埼玉県所沢市)
- 自社開発ビル** ⑥TRUNK 椿町ビル (愛知県名古屋市)
- コンバージョン実績** ⑦四日市Food Market (三重県四日市市)
- 管理ビル** ⑧TRN新宿ビル (東京都新宿区) ⑨ジェイリート大宮ビル (埼玉県さいたま市)

トピックス

店舗流通ネット株式会社

M&A仲介事業を目的とした
TRN Capital Management 株式会社
設立、TRNグループ形成



TRNグループを形成

店舗流通ネットの基幹事業
店舗リース事業のさらなる発展

店舗ビジネスを軸とした
新規事業を展開へ

TRNインベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業（第二種、投資助言・代理業）
登録

これにより不動産ファンド組成、販売、運用の助言等
まで、一気通貫した金融商品を提供する方針です。投
資家利益の最大化を第一に、金融商品取引法を始めと
するコンプライアンス重視を徹底し、運用に注力して
まいります。



一気通貫した金融商品提供

顧客管理POSシステムを開発・販売する 株式会社アニーの全株式を取得

ninapos[®]

ninaposとは、洋菓子店専用の
顧客管理POSレジシステムのことです。
Custom-made POS register for Patisserie.



■ 株式会社アニーについて

製菓・製パン業界に特化した顧客管理POSシステムを開発・販売。顧客管理だけでなく、製造管理まで行うことができるシステムを構築し、店舗運営をDXによって円滑にサポートできる技術力・ノウハウと知見を有しています。

製菓・製パン業界に特化した顧客管理POSシステム
全国約350社・850店舗の導入実績

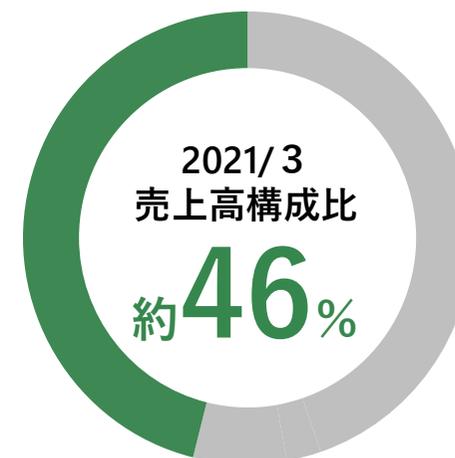
+

飲食（製菓・製パン）業界の
ノウハウとネットワーク

積極的な商品開発と販売促進のデジタル化を推進、
店舗最適化や販管費の見直し等を推し進め
売上高は前期比微減するものの利益は大幅増

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期	
	金額	金額	前期比
売上高	17,359	16,191	93.2%
セグメント利益 (利益率)	1,053 (6.0%)	1,216 (7.5%)	115.5%

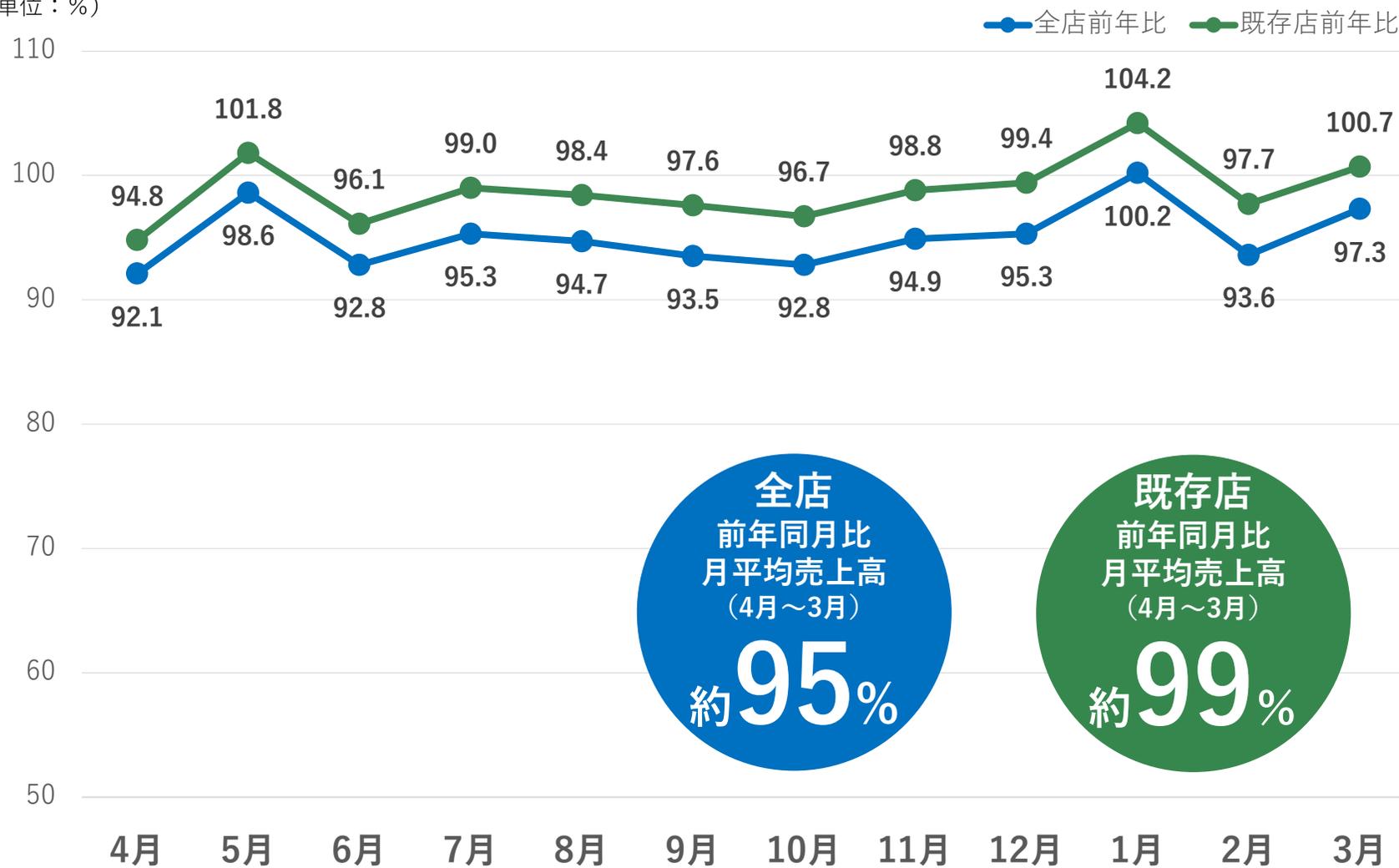


- 積極的な商品開発とデジタルプラットフォームを利用した販売促進施策の効果で店舗売上は前年同程度を維持
- 新型コロナウイルス影響による、イベント外販受注の減少。不採算店舗の閉鎖による店舗数の減少が全体の売上高に影響
- 店舗の最適化を迅速に実行し、販管費の見直しを強力に推し進め利益は前期比増
- 第4四半期、オリジナルのほっかアプリの会員数が30万人を突破

持ち帰り弁当事業 月別の売上高推移



(単位：%)



ほっかほっか亭

(10月~3月)
+ 3 店舗
オープン

西日本を中心に店舗数を拡大。
ほっかほっか亭とWash&Shineの
複合店舗も出店。



W A S H & S H I N E !
C O I N L A U N D R Y

(10月~3月)
+ 7 店舗
オープン



楽天ポイント開始に伴う大型キャンペーンをはじめ、顧客に幅広くリーチする告知を展開

楽天ポイントへの参入を大々的にアピール

R
POINT



スマホで注文! 待たずに受け取り!

モバイルオーダー

スマホから簡単にご注文・お支払い | 待たずに受け取り時間を節約! | 楽天ポイントが使える、貯まる!



新常態にマッチする非接触決済に対応

大好評「すみっこぐらし」キャンペーンを継続して実施

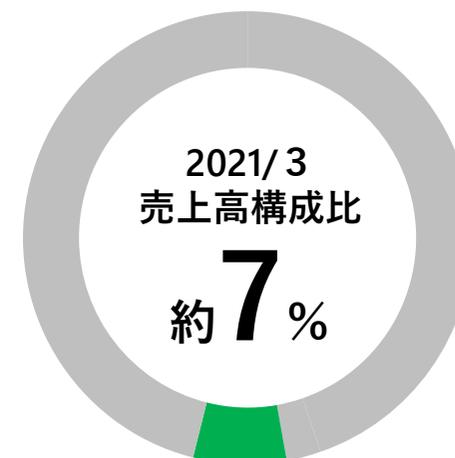
人気キャラクターとのコラボ企画を継続的に投入。

©2021 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

モバイルオーダーと楽天ポイントを組み合わせることで新常態でのニーズに的確に応える施策を展開しました。

カミッサリー第2工場が本格稼働、新型コロナウイルス拡大に伴い、仕出サービス、ケータリングサービスともに売上高に影響

物流食品加工 事業 (単位：百万円)	2020/3期	2021/3期	前期比
	金額	金額	
売上高	2,408	2,350	97.6%
セグメント利益 (利益率)	59 (2.5%)	71 (3.0%)	121.3%



- 新型コロナの影響により第1四半期において外販営業活動が制限された影響で、上半期は昨対比を下回る結果となったが、下半期には回復を見せた。
- カミッサリー第2工場が本稼働を開始したことで、生産能力はこれまでの3倍に向上し、既存商品の増産と、外部への安定供給基盤を構築

■ 仕出料理事業 売上高 149百万円 セグメント利益 △305百万円

- 新型コロナウイルス拡大に伴い、仕出サービス、ケータリングサービスともに売上高は低調に推移するも、足元は好調に推移

■ その他 売上高 725百万円 セグメント利益 △180百万円

- アルヘイム株式会社の事業すべてを譲渡

イベント・パーティー等での食器・什器・備品等の レンタル事業を行う株式会社ファースト・メイトをグループ化



食器・テーブルウェア、什器、備品などのパーティー関連のレンタルはもちろんのこと、ライブイベント等の会場設営から使用する照明機材などもラインナップしており、イベント関連はトータルでサポートできるのが特徴です。

■ 株式会社ファースト・メイトについて

飲食・イベント産業において、イベントやパーティーでの食器類、什器、備品などのレンタルを行っています。イベント実施のために必要な商品・技術、情報を提供、一社ですべて対応できるオンリーワン企業を目指しています。

イベントに必要な資材の提供から、実施のための技術提供まで
イベント関連をトータルで支援可能

+

ケータリングやイベント等の支援実績による
幅広い業界のネットワーク

グループ出退店の状況



		実績	
		2019年4月1日～ 2020年3月末日	2020年4月1日～ 2021年3月末日
店舗委託事業	新規委託	225	166
	委託終了	183	248
	店舗数	850	768
持ち帰り弁当事業	出店	45	42
	退店	67	101
	店舗数	960	901
フレッシュベーカリー 関連事業 *21年3月期アルヘイム事業譲渡 を実施	出店	0	0
	退店	1	18
	店舗数	18	-
グループ全店	出店/新規委託	270	208
	退店/委託終了	251	367
	店舗数	1,828	1,669

※各店舗数は3月末日の店舗数を記載

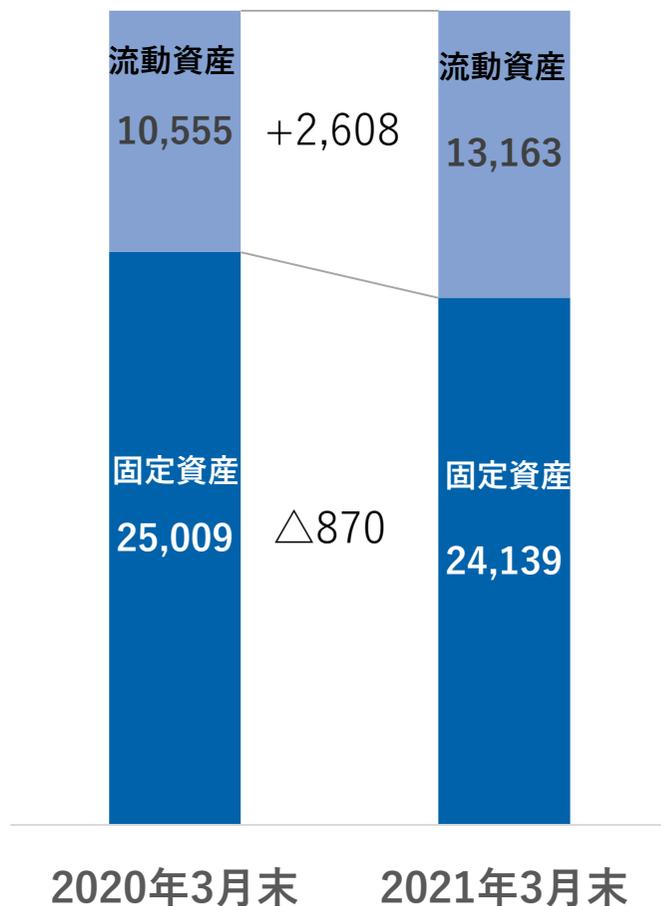
B/S 財務状況の推移



資産の部

(単位：百万円)

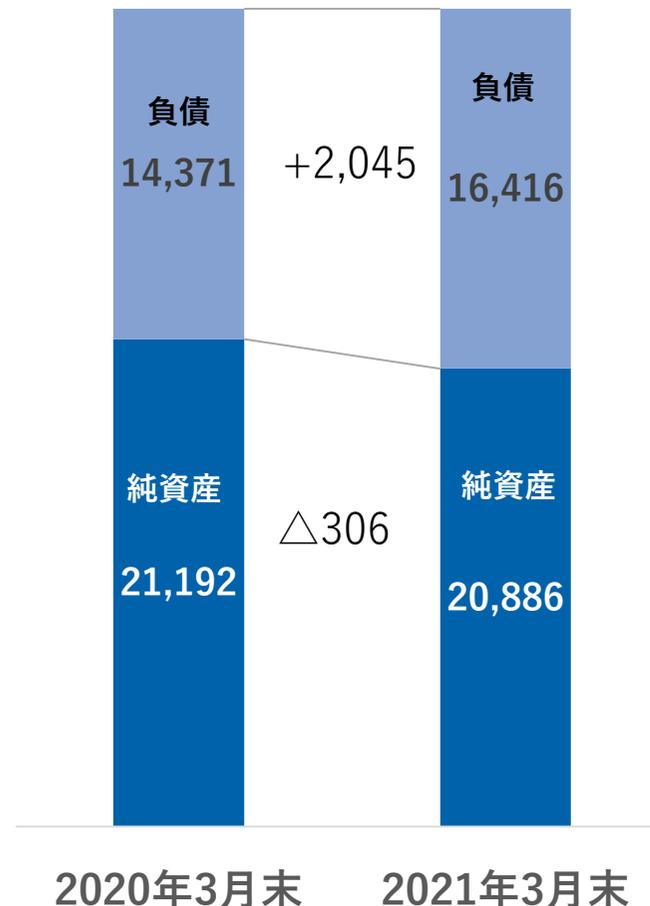
- 流動資産：商品・製品の増加（主に店舗管理事業における販売用不動産）
- 固定資産：敷金及び保証金が減少



負債・資本の部

(単位：百万円)

- 負債：長期借入金が増加
- 純資産：配当、自己株式取得、その他有価証券評価差額金の増加



キャッシュ・フローの状況



	2020年3月期	2021年3月期	増減	内容
	金額	金額		
(単位：百万円)				
営業活動による キャッシュ・フロー	1,697	△2,149	△3,846	主に、法人税等の支払額 6億67百万円、棚卸資産 の増加額21億91百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	1,817	△2,195	△4,012	主に、有形固定資産の取 得による支出30億89百万 円
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,515	1,898	+4,413	主に、長期借入れによる 収入25億40百万円、 長期借入金の返済による 支出13億5百万円
現金及び現金同等物 の期末残高	7,554	5,108	△2,445	

2022年3月期 業績予想について



売上高・利益ともに大幅増を見込む

(単位：百万円)

	2021/3期 実績		2022/3期 予想		前期比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	35,126	—	39,000	—	111.0%
営業利益	400	1.1%	1,100	2.8%	275.0%
経常利益	912	2.6%	1,500	3.8%	164.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	70	0.2%	1,000	2.6%	1410.7%

事業環境

対応策

店舗委託
事業

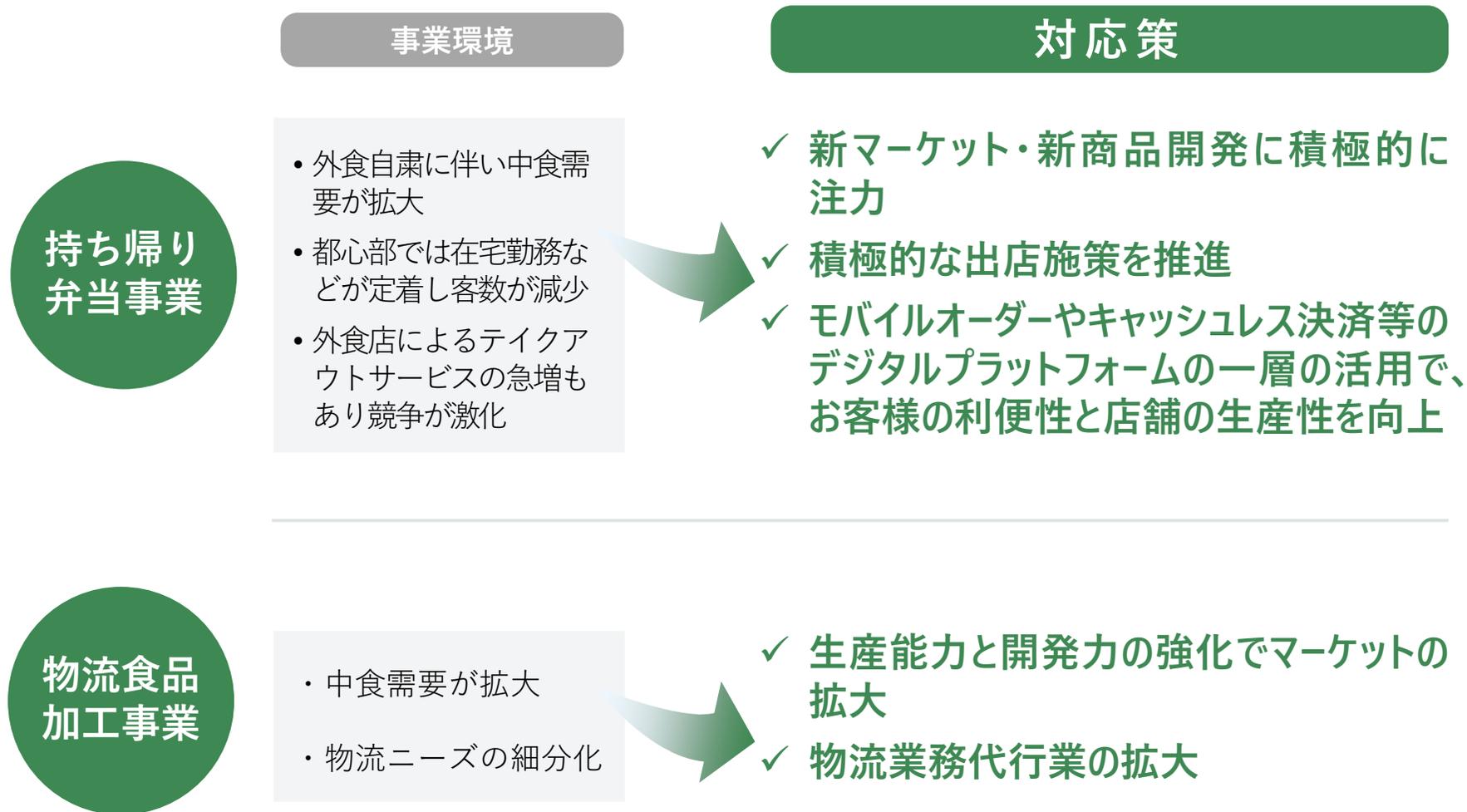
新型コロナの影響による
外食自粛要請等で一時的な
売上高の影響を見込む

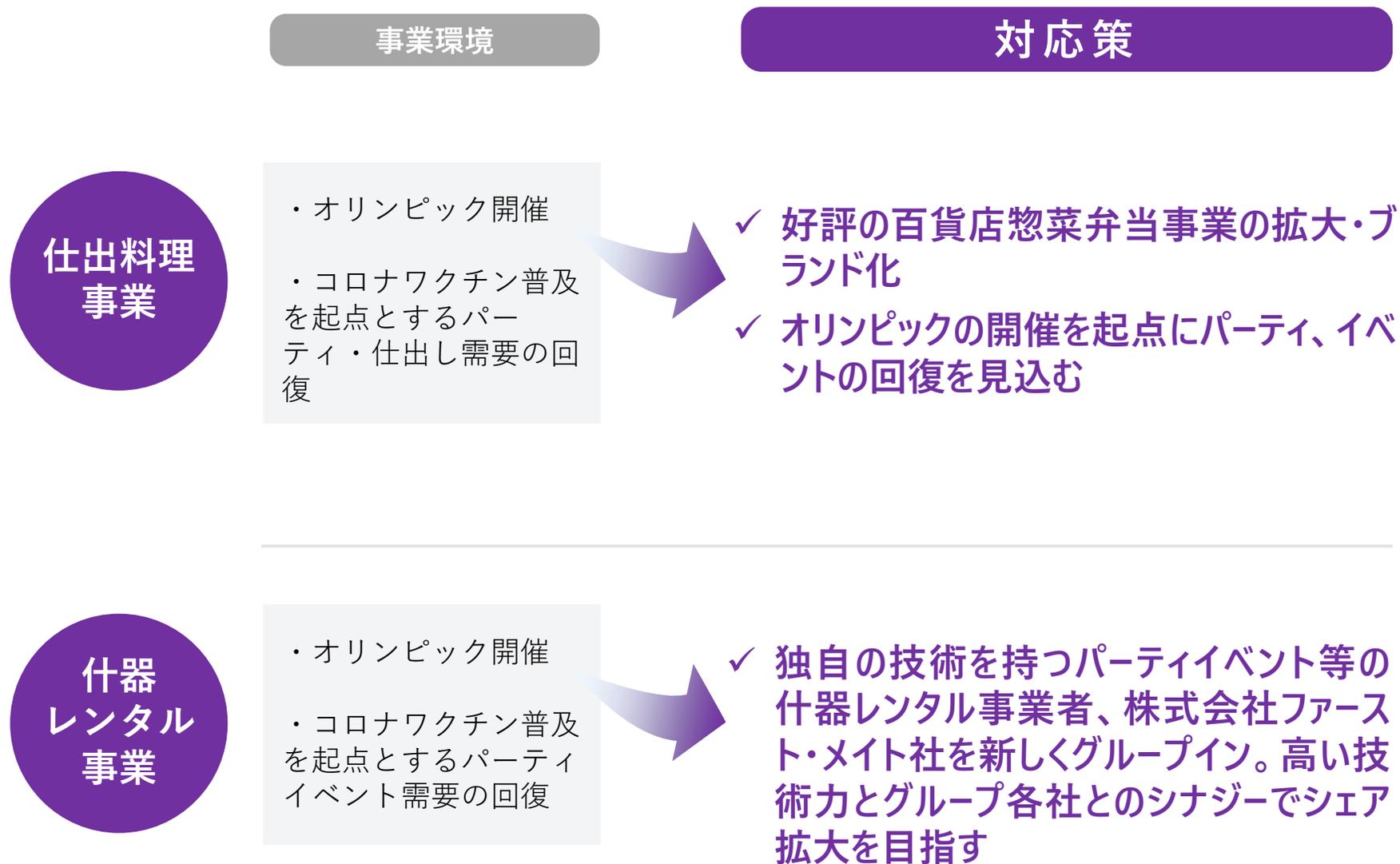
- ✓ 引き続き、空室の抑制に注力し、事業の安定化を図る。
- ✓ 近い将来確実に訪れるコロナワクチン普及による飲食需要の回復期に向けて、好立地の優良店舗仕入を積極的に継続する

店舗管理
事業

引き続き新型コロナ感染症
拡大の影響を受ける

- ✓ 優良物件仕入で不動産ファンド事業強化
- ✓ 第二種金融商品取引業のライセンス取得をてこに、不動産ファンド組成のグループ内製化を推し進める





株主還元



2022年3月期 通期で1株当たり配当合計22円を見込む

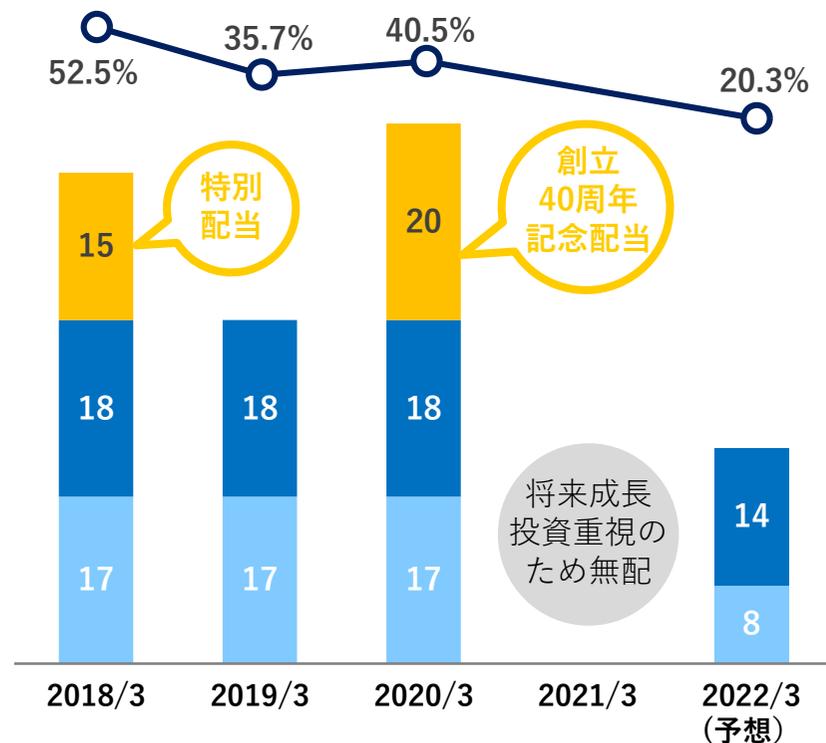
注) 5月18日に発表いたしました10月1日を効力発生日とする株式分割の影響は加味しておりません。株式分割による配当および株主優待への影響に関しては決定次第改めてご報告させていただきます。

配当性向/金額 (円)



○ 配当性向

■ 特別/記念配当 ■ 期末 ■ 中間



株主優待



毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された300株以上を保有する株主を対象

保有株式数

優待内容

300~500株未満	QUOカード 500円分
500~1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

APPENDIX SDGs CSR取組み



企業責任 SDGsへの取組

ハークスレイグループのSDGsに対する考え方

私たちハークスレイグループは、安心・安全な「食」を通して、お客様のみならずステークホルダーや社会全体への貢献を目指し、挑戦を続けてまいりました。バイオーダーの持ち帰り弁当事業や店舗委託事業は、事業運営そのものが食品ロスや設営ロスの大幅な低減につながるものであり、持続可能な循環型社会の構築に大きく資するものと自負しております。

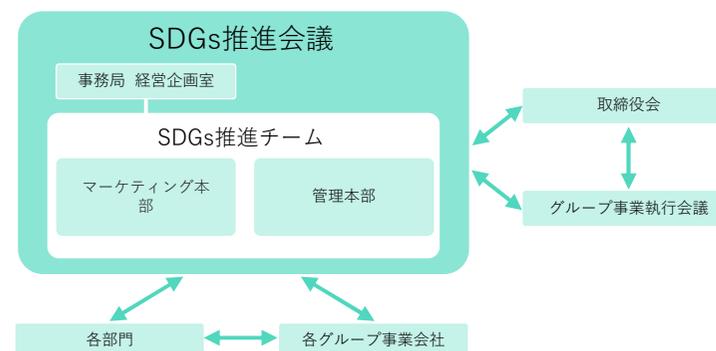
一方で近年、温暖化による気候変動をはじめとした様々な環境問題が国を超えて拡大しています。人間活動の影響による環境破壊がこれ以上進まないよう、私たちの事業運営の延長として、これら問題に対して真摯に向き合うことは、食に携わる私たちの責任であり、かつ更なる成長の原動力となると考え、この度SDGsの取組みに賛同・参加することといたしました。



サステナビリティ推進体制

ハークスレイグループでは、SDGs重点テーマにフォーカスした施策の立案や目標達成状況のモニタリング、社内外のコミュニケーションについて、株式会社ハークスレイのSDGs推進会議を中心に議論し、取組みを推進しています。

これにより、グループ各社がそれぞれの業務のなかで主体的にSDGs推進に取り組むとともに、同委員会でのグループ横断的な方針や施策などの議論を通じて推進体制を強化しています。



企業責任 SDGs重点テーマ

重点テーマ1：豊かな生活の基盤となる街づくり

ハークスレイグループは地域社会の一員としてインフラの一部を担う責任を迫及し、常に出来る事を考え、挑戦します。住民の皆様が快適に生活出来る街づくりに貢献し、社会から必要とされる企業を目指します。

以下一部ご紹介

- ビル再生事業におけるアスベスト対策
- 自治体・地域社会との連携、地域イベントへの積極参加、協力により、地域の活性化に貢献
- 太陽光発電システム導入により、CO2排出量削減に貢献



重点テーマ2：人・社会・環境にやさしい企業運営

ハークスレイグループは皆様の暮らしのパートナーとして豊かな未来を作って行く事を企業理念とし、人・社会・環境にやさしい企業運営を目指しております。未来を担う子供たちの為に、我々が出来る事を積み重ねてまいります。

以下一部ご紹介

- 木製スプーン導入、バイオマスポリエチレン使用レジ袋によるCO2削減
- バイオーダーの持ち帰り弁当事業の運営による食品廃棄削減、社会インフラとしての地域貢献
- ビル再生事業では、法的治癒を付し、ビルの耐用年数を伸ばすことにより、廃棄物の発生を大幅に削減



重点テーマ3：ワークライフバランスとダイバーシティの充実

ハークスレイグループは生活密着企業として、互いの多様性を認め、個性を尊重し合った上で、仕事でも各個人が持てる能力を発揮できる“職場”、あらゆる人が笑顔になるようなグループを目指します。

以下一部ご紹介

- 女性が働きやすい環境作り、キャリア形成、ステップアップを助ける環境の確保(育休制度、変則勤務制度の充実と利用促進)
- 職種、性別による不平等撲滅に向け、社内評価制度の定期的見直しを実効
- 在ベトナム「TRNジョブトレーニングセンター」の設置。



企業責任 SDGs 環境施策例

株式会社アサヒL&C 「太陽光発電システム稼働」

株式会社アサヒL&Cは、徹底した排水処理施設に加え、太陽光発電システムを実装するなど積極的に環境負荷の低減を図っております。



定格出力
253 k w (320w × 792枚)



アサヒL&C尼崎流通センター

本社尼崎流通センター
屋上にて
太陽光発電システム稼働

年間CO₂削減量
見込
116.8トン/年

「BG無洗米」使用によりCO₂削減

循環型社会の促進に貢献するため「BG無洗米」を使用し、節水のみならずとぎ汁の汚濁物質を抑制し、上下水処理にかかるCO₂排出の削減を推進



BG無洗米に関する
CO₂削減量

年間CO₂削減量
見込
37.44トン/年

企業責任 CSR取組み例

● 株式会社ハークスレイのCSR活動

環境対応

- ・循環型社会の促進に貢献するため「B G無洗米」を使用し、節水のみならずとぎ汁の汚濁物質を抑制し、とぎ汁の下水処理にかかるCO₂排出の削減を推進
- ・廃プラスチック問題に真摯に向き合い、レジ袋削減や包材の工夫を継続

災害対応

- ・大阪府をはじめ大阪市及び尼崎市と災害救助物資の供給等に関する協定を締結、各自治体と連携・協働することにより災害時における「食」の安定供給

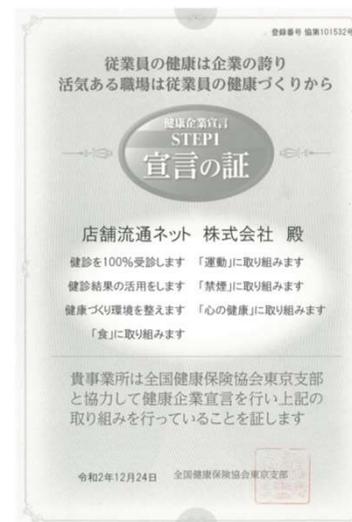
地域対応

- ・地域の防犯啓発活動に協力
- ・地域スポーツ振興

▼株式会社ハークスレイの環境・社会問題への取組みに関しては、以下情報ページにてご確認いただけます。
<https://www.hurxley.co.jp/csr/>

● 店舗流通ネット「健康企業宣言」を制定

店舗流通ネットは、従業員の健康を重要な経営資源と捉え、従業員の健康増進の取組みとして、「健康企業宣言」を制定しました。従業員の健康がTRNグループの発展の礎であり、経営戦略の投資対象として積極的に推進してまいります。



- 健診を100%受診します
- 健診結果を活用します
- 健康づくり環境を整えます
- 「食」に取り組みます
- 「運動」に取り組みます
- 「禁煙」に取り組みます
- 「心の健康」に取り組みます

健康企業宣言とは

健康優良企業を目指して、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合は「健康優良企業」として認定される制度を指します。

▼TRNグループの「従業員に対する取組み」については、CSR情報ページにてご確認いただけます。
<https://trn-g.com/company/csr/>



株式会社ハークスレイ 経営企画室

**IRに関する
お問い合わせ先**

電 話：06-6376-8088（代表）

e-mail：ir@hurxley.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。